

第2期

みちのく盛岡広域 連携都市圏ビジョン



令和3年3月策定（令和4年3月改定）

盛岡広域首長懇談会 盛岡市

1 戦略1 産業の営みをつなぐ（圏域全体の経済成長のけん引）

ア 産学金官民一体となった経済戦略の策定、国の成長戦略実施のための体制整備

No.	1-1	事業名	ものづくり人材育成事業			
連携市町	全市町					
事業概要	盛岡広域のものづくり人材を育成し、地元定着を促進するため、盛岡広域振興局、広域市町等と連携し、学生を対象にものづくりをテーマとする出前講座や工場見学、セミナーを開催する。					
見込まれる成果	人材育成に寄与することで、広域圏におけるものづくり事業の推進を図ることができる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	112	137	137	137	137	660
役割分担 費用負担	盛岡市	・ 市内企業、大学、商工団体、盛岡広域振興局等との調整を取りながら、事業を実施する。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・ 各市町の企業、大学、商工団体、盛岡広域振興局等との調整を取りながら、事業を実施する。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値	現状値		目標値（令和7年度）	
出前講座等の参加企業数 (累計)（↑）		13 社 (平成31年3月末)	31 社 (令和4年12月末)		61 社	
(出所・出典) 盛岡市						

○今後検討する事業

事業名	事業概要
新しい生活・産業様式に対応するための調査研究事業	新型コロナウイルス感染症によりもたらされた停滞した経済からの回復を図るための取組（生産性向上のためのデジタル化等未来新技術への対応、地域間競争を見据え将来を見越した産業分野の育成など）や、感染の拡大に伴う新たな生活様式に対応した地方移住や副業、ワークライフバランスの充実への関心の高まりに対する対応（ワーケーション、サテライトオフィス、テレワークなど）に係る取組について調査研究を行う。

イ 産業クラスターの形成，イノベーション実現，新規創業支援，地域の中核企業等を核とした戦略産業の育成

No.	1 - 2	事業名	創業支援事業			
連携市町	全市町					
事業概要	盛岡広域において、国の認可を受けた「創業支援等事業計画」に基づき、起業家塾・セミナーの開催や、「創業者向けファンド」の設立などを通じ、新規創業者・起業家へ支援を行う。					
見込まれる成果	圏域内の市町の境を越えて創業支援を受けることができるため、より創業しやすい環境の形成が図られる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	250	400	400	400	400	1,850
役割分担 費用負担	盛岡市	・ 本事業を実施するとともに、広域的な調整を行う。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・ 本事業の実施に協力して取り組む。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値（令和7年度）
起業家塾@もりおか参加者のうち起業した者の数（累計）（↑）		9 人 （令和元年度）		13 人 （令和4年12月末）		21 人
（出所・出典）盛岡市						

No.	1 - 3	事業名	産学官連携の推進			
連携市町	全市町					
事業概要	盛岡市産学官連携研究センター等の活用等により，企業が抱える技術的問題の解決や新製品・新技術の研究開発等を支援する。					
見込まれる成果	他市町の企業が盛岡市産学官連携研究センター等を活用することにより，圏域全体の企業の底上げにつながる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	36,210	48,895	48,964	48,964	48,964	231,997
役割分担 費用負担	盛岡市	・盛岡市産学官連携研究センター等を運営する。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・滝沢市 IPU イノベーションセンターを運営する（滝沢市）。 ・事業実施に要する費用を負担する（滝沢市）。 ・各市町の企業と産学官連携研究センター等の施設とのマッチングに向けた調整を行う（各市町）。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値（令和7年度）
大学との共同研究により開発された新商品延べ件数(↑)		12 件 (令和2年10月末)		12 件 (令和4年12月末)		16 件
(出所・出典) 盛岡市・滝沢市						

No.	1 - 4	事業名	圏域市町の連携による企業誘致の推進			
連携市町	全市町					
事業概要	首都圏での企業立地セミナーの開催，トップセミナー，在京盛岡広域産業人会の活用による人的ネットワーク化などを行う。					
見込まれる成果	共同企業誘致に係る各市町間の役割分担を明確にすることで，より高い誘致効果が期待できる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	2,109	2,109	<u>2,109</u>	2,835	2,835	<u>11,997</u>
役割分担 費用負担	盛岡市	・ 圏域内への企業誘致に向けた事業に取り組むとともに，広域的な調整を行う。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・ 圏域内の企業誘致に向けた事業実施に協力して取り組む。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値	現状値		目標値（令和7年度）	
圏域市町における誘致企業延べ数(↑)		7 件 (令和2年10月末)	<u>22 件</u> (令和4年12月末)		8 件→ <u>49 件</u>	
(出所・出典) 全市町						

○今後検討する事業

事業名	事業概要
国際リニアコライダー誘致推進事業	国際リニアコライダーの誘致実現を目指した取組を進めるとともに，外国人居住者の増加や関連企業の集積，新産業の創出など誘致実現後の社会変化に対応するため，情報共有を図りながら広域で連携したまちづくりのあり方を検討する。

ウ 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

No.	1 - 5	事業名	盛岡広域まるごとフェア開催事業			
連携市町	全市町					
事業概要	盛岡広域 8 市町の物産品販売やご当地グルメの販売を通じて，盛岡広域圏の魅力を発信する。					
見込まれる成果	広域 8 市町等の連携により，効率的に地域の魅力を発信できる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	0	1, 327	1, 327	1, 327	1, 327	5, 308
役割分担 費用負担	盛岡市	・ 主催する実行委員会との連絡調整を行う。 ・ 事業実施に要する費用（商工会議所に対する補助金）を負担する。				
	連携市町	・ 本事業の実施に協力して取り組む。 ・ 事業実施に要する費用（商工会議所に対する補助金）を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値（令和 7 年度）
まるごとフェアイベント 入場者数(↑)		4, 308 人 (令和元年度)		未実施		10, 100 人
(出所・出典) 盛岡広域商工団体「観光・物産フェア」実行委員会						

No.	1 - 6	事業名	6 次産業化の推進			
連携市町	全市町					
事業概要	6 次産業化及び地産地消等の推進につなげる取組の検討を行う。 ・ 広域 8 市町の 6 次産業化実践者を訪問し現地研修や、農業以外の業種が個々に持っている経営に関する情報などを意見交換や勉強会等により把握する。 ・ 盛岡地方の関係機関（8 市町含む）・団体が連携を密にし、農業、農村の振興に寄与することを目的とし、8 市町のほか広域振興局などの関係機関・団体との連携を検討する。 ・ 盛岡市が令和 2 年 3 月に策定した「盛岡産農畜産物の輸出促進に向けた基本方針」に基づき、各市町の農畜産物の強みを結集し、輸出品目の拡大など、継続的・安定的な輸出に向けた取組を推進する。					
見込まれる成果	・ 各市町の食と農の推進だけでなく、8 市町連携によるスケールメリットを発揮した圏域の食と農の取組を進めることができる。 ・ 圏域としての食と農の魅力を購買者に伝えることにより、圏域の農産物や農産加工品の生産流通及び消費拡大による農業の活性化に寄与する。 ・ 8 市町の連携により、生産量（輸出ロット）の確保や輸出品目（特産品）の拡大を図ることが可能となり、相手国への訴求力向上による輸出促進が期待できる。 ・ 8 市町のほか広域振興局や J A などの関係機関・団体との協力体制を確保することで、更なる 6 次産業化、地産地消及び輸出の取組に関する検討の進展が見込まれる。					
事業費見込み （千円）	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	0	0	0	0	0	0
役割分担 費用負担	盛岡市	・ 本事業の企画，現地研修，意見交換や勉強会研修の活動を支援するとともに、広域的な調整を行う。				
	連携市町	・ 事業の企画，現地研修，意見交換や勉強会研修の活動に協力して取り組む。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値	目標値（令和 7 年度）	
6 次産業化の推進へ向けた現地研修，勉強会等により意見交換した企業・団体等（個人起業者含む）の延べ件数（↑）		14 件 （令和元年度）		<u>24 件</u> （令和 4 年 12 月末）	38 件	
（出所・出典）盛岡広域首長懇談会　食農推進協議会						

No.	1 - 7	事業名	盛岡手づくり村における圏域産品等の情報発信			
連携市町	全市町					
事業概要	盛岡手づくり村が、圏域産品の販売や観光情報の発信等を行う。					
見込まれる成果	盛岡手づくり村が広域の一体的な販売促進や情報発信等を行うことにより、地場産業の振興及び地域経済の活性化を図ることができる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	500	500	2,122	2,122	2,122	7,366
役割分担 費用負担	盛岡市	・本事業を実施するとともに、広域的な調整を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・本事業の実施に協力して取り組む。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値（令和7年度）
首都圏等における物産展等を活用した情報発信の延べ回数（↑）		9 回 （令和2年度）		11 回 <u>（令和4年12月末）</u>		27 回
（出所・出典）盛岡市						

No.	1 - 8	事業名	盛岡手づくり村振興事業			
連携市町	全市町					
事業概要	盛岡手づくり村を良好な状態に維持管理し、来場者の便宜向上を含め、安全な施設運営を図るとともに、（公財）盛岡地域地場産業振興センターの事業支援を通じて、盛岡広域圏の地場産業の振興拠点としての機能強化を図る。					
見込まれる成果	盛岡広域の地場産業の拠点であることが再認識され、地域経済の活性化を図ることができる。					
事業費見込み （千円）	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	<u>44,019</u>	45,000	45,000	45,000	45,000	<u>224,019</u>
役割分担 費用負担	盛岡市	・本事業を実施するとともに、広域的な調整を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・本事業の実施に協力して取り組む。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値（令和7年度）
盛岡手づくり村来場者数 （↑）		375,531 人 （令和元年度）		<u>184,016 人</u> （令和4年12月末）		410,000 人
（出所・出典）盛岡市						

エ 戦略的な観光施策

No.	1 - 9	事業名	広域観光推進事業			
連携市町	全市町					
事業概要	誘客促進とエリアの観光振興に向け、盛岡・八幡平広域観光推進協議会など広域観光団体の取組と連動した観光 PR の実施、自然景観、伝統芸能、食、温泉など圏域の魅力の情報発信などを行うほか、県や振興局等が実施する広域観光キャンペーンに参加するなど、各市町が連携して広域観光の推進を図る。 ※本事業において、下記事業を集約して取り組む。 ・スポーツ、健康、産業など特定のテーマと観光を組み合わせたニューツーリズムについて、新たな観光需要を期待できる体験メニューの企画開発やモデルコースの検討。 ・公共交通拠点を起点とした圏域市町を結ぶ2次交通の整備に向け、広域観光の取組やサービス向上の仕組みづくりなどの調査研究 ・交流人口の増加を目指して、圏域の魅力の効果的な情報発信により、新たな観光需要の掘り起こし					
見込まれる成果	圏域内の観光客入込数の増加につながる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	0	5,897	8,397	8,397	8,397	31,088
役割分担 費用負担	盛岡市	・盛岡広域を含む市町で構成する広域観光団体や関係機関等の取組に参画し、広域観光の推進を図る。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・盛岡広域を含む市町で構成する広域観光団体や関係機関等の取組に参画し、広域観光の推進を図る。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値（令和7年度）
圏域内観光客入込数 (↑)		968 万人回 (令和元年)		集計中		1,028 万人回
(出所・出典) 岩手県商工観光労働部「いわての観光統計」						

No.	1－10	事業名	国際観光客誘致促進事業			
連携市町	全市町					
事業概要	県や関係市町などとの連携により、インバウンドの誘客促進を図るため、国際旅行展等への参加によるプロモーションを実施するほか、新たな市場開拓に向けた海外プロモーション活動の強化を図る。また、海外からの観光客誘致に向けた取組を進めるとともに、観光案内表示や観光ホームページ等の多言語化、Wi-Fi 通信環境整備の改善、浴衣や温泉、日本文化や和食などのメニューづくり、食事・買い物、各種体験などの仕組みづくり等、外国人観光客受入環境の整備を推進する。					
見込まれる成果	圏域内の外国人観光客入込数の増加につながる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	1,645	62,480	6,000	6,000	6,000	82,125
役割分担 費用負担	盛岡市	・盛岡広域圏内自治体や観光団体等と連携しながら、国際旅行展への出展など、海外プロモーション活動や外国人観光客受入環境の整備を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・盛岡広域圏内自治体や観光団体等と連携しながら、国際旅行展への出展など、海外プロモーション活動や外国人観光客受入環境の整備を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値	目標値（令和7年度）	
圏域内外国人観光客入込数（↑）		238,784 人回 （令和元年）		集計中	300,000 人回	
（出所・出典）岩手県県商工観光労働部「いわての観光統計」						

No.	1－11	事業名	M I C E の誘致推進			
連携市町	全市町					
事業概要	M I C E 開催支援制度を創設し、誘致活動を推進する。					
見込まれる成果	M I C E 誘致を推進するとともに、エクスカーションを圏域で行うことによる波及効果で、圏域内の交流人口の増加と観光振興につながる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	500	<u>14,950</u>	<u>20,100</u>	<u>25,100</u>	<u>25,100</u>	<u>85,750</u>
役割分担 費用負担	盛岡市	・ M I C E 開催助成を通じ、M I C E 誘致の推進と広域観光の P R を行う。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・ エクスカーションの提供と M I C E 誘致に係る P R 活動の連携を図る。				
成果指標		成果指標設定時値	現状値		目標値（令和7年度）	
M I C E 開催助成件数 (↑)		22 件 (令和元年度)	<u>集計中</u>		35 件/年	
(出所・出典) (公財) 盛岡観光コンベンション協会						

No.	1－12	事業名	盛岡広域フィルムコミッション事業			
連携市町	全市町					
事業概要	圏域市町の連携により、ロケーションの誘致やロケーションに関する情報収集と情報・相談・斡旋等の支援を行う。					
見込まれる成果	圏域が有している魅力を、映画やテレビ等の映像を通じて広く紹介することにより、地域の知名度やイメージが向上し、観光客の増加や交流による地域活性化が見込まれる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	1, 258	1, 258	1, 258	1, 258	1, 258	6, 290
役割分担 費用負担	盛岡市	・ 盛岡広域圏内自治体及び観光関係団体等と連携しながら、ロケ誘致などフィルムコミッション事業の支援を行う。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・ 盛岡広域圏内自治体及び観光関係団体等と連携しながら、ロケ誘致などフィルムコミッション事業の支援を行う。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値（令和7年度）
圏域内ロケ支援件数 (↑)		63 件 (令和元年度)		集計中		100 件/年
(出所・出典) 盛岡広域フィルムコミッション						

No.	1ー13	事業名	いわて・盛岡広域観光センター運営支援事業			
連携市町	全市町					
事業概要	県内・圏域の観光拠点である盛岡市・中心市街地のまちなか観光を推進し、圏域エリア内への周遊を促すため、広域の観光資源の情報発信や誘客宣伝活動などを行う。					
見込まれる成果	圏域で連携することにより、観光資源の情報発信や誘客宣伝が効果的に行われ、圏域内の観光客入込数の増加につながる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	6, 860	6, 860	6, 860	6, 860	6, 860	34, 300
役割分担 費用負担	盛岡市	・盛岡広域圏内自治体及び観光関係団体等と連携しながら、盛岡広域の観光案内や情報発信を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・盛岡広域圏内自治体及び観光関係団体等と連携しながら、盛岡広域の観光案内や情報発信を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値	目標値（令和7年度）	
いわて・盛岡広域観光センター来訪者数（↑）		37, 645 人 （令和元年度）		集計中	40, 000 人/年	
（出所・出典）（公財）いわて・盛岡広域観光センター						

No.	1－14	事業名	教育旅行誘致事業			
連携市町	全市町					
事業概要	北陸新幹線・北海道新幹線開業を踏まえ、幅広い地域からの岩手・盛岡への来訪に対応するため、修学旅行ガイドブックの作成や関係団体などとの連携による教育旅行の誘致活動の強化と受入態勢の充実を図る。					
見込まれる成果	県内外からの修学旅行入込数が増加するほか、修学旅行で訪れた生徒・児童が将来的にリピーターへとつながる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	931	1,511	1,775	1,775	1,775	7,767
役割分担 費用負担	盛岡市	・(公財) 岩手県観光協会教育旅行誘致宣伝部会の教育旅行誘致活動など、関係自治体及び観光関係団体等と連携しながら、教育旅行誘致の推進を図る。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・(公財) 岩手県観光協会教育旅行誘致宣伝部会の教育旅行誘致活動など、関係自治体及び観光関係団体等と連携しながら、教育旅行誘致の推進を図る。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値	目標値 (令和7年度)	
教育旅行入込客数 (学校数) (→)		1,603 校 (令和元年)		集計中	1,600 校/年	
(出所・出典) 岩手県商工観光労働部「いわての観光統計」						

No.	1－15	事業名	スポーツツーリズム推進事業			
連携市町	全市町					
事業概要	広域連携組織の盛岡広域スポーツコミッションにおいて、基本的施策としてスポーツによる交流人口の拡大、地域スポーツの推進、東京オリ・パラなどメガスポーツイベントへの取組を掲げ、スポーツ大会・合宿の誘致等の事業に取り組む。					
見込まれる成果	スポーツツーリズムの取組を通じて、盛岡広域圏の魅力の発信や賑わいの創出を図る。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	<u>17,749</u>	<u>1,951</u>	<u>1,930</u>	<u>1,930</u>	<u>1,930</u>	<u>25,490</u>
役割分担 費用負担	盛岡市	・ 広域連携によるスポーツ推進体制の在り方の調査・研究に取り組むとともに、広域的な調整を行う。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・ 調査・研究に参加するとともに、広域連携によるスポーツ推進に関して各市町の関係者・関係団体に対して働きかけを行うなど、事業実施に協力して取り組む。 ・ 地域スポーツ競技の広域的普及のための事業を実施する。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値（令和7年度）
スポーツ国内大会・合宿や事前キャンプの受入件数（→）		149 件 （令和元年度）		<u>67 件</u> <u>（令和4年12月末）</u>		149 件/年

(出所・出典) 8 市町

No.	1ー16	事業名	エコツーリズムの振興			
連携市町	全市町					
事業概要	盛岡広域における再生可能エネルギー施設の視察・見学について、盛岡市環境部ホームページ「eco もりおか」で情報発信を行うとともに、効果的なエコツーリズムの推進に向けた手法の検討を行う。					
見込まれる成果	多様な再生可能エネルギー施設を一元的に情報発信することにより、視察者や見学者のニーズに合わせたエコツーリズムを実施することができる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	0	0	0	0	0	0
役割分担 費用負担	盛岡市	・エコツーリズムの振興に向けた事業に取り組むとともに、広域的な調整を行う。 ・情報発信の基盤となるホームページを運営する。				
	連携市町	・エコツーリズムの振興に向けた事業に協力して取り組む。 ・各市町公式ホームページにおいて、情報発信を行う。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値（令和7年度）
盛岡市環境部ウェブサイト『eco もりおか』内のエコツーリズム該当ページ閲覧件数（↑）		0 件 (令和3年12月末)		0 件 (令和4年12月末)		100 件/年
(出所・出典) 盛岡市						

2 戦略2 人の流れをつなぐ（高次の都市機能の集積・強化）

ア 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築

No.	2 - 1	事業名	盛岡バスセンター整備事業			
連携市町	全市町					
事業概要	圏域内外のバス交通アクセス拠点である盛岡バスセンターは、令和3年度内の開業を目指しており、令和3年度は開業後の施設の活用方法等について協議・検討を行う。 ↓ 圏域内外のバス交通アクセス拠点である盛岡バスセンターは、令和4年度秋までの開業を目指しており、令和3年度は開業後の施設の活用方法等について協議・検討を行った。 令和4年度においては、10月4日に盛岡バスセンターが開業日し、バス待合室に観光課が事務局を務める盛岡・八幡平広域観光推進協議会構成市町村（広域8市町、宮古市、岩泉町、秋田県鹿角市及び小坂町）の観光パンフレットを配架し、バスセンター利用者に必要とされる情報発信機能の充実を図った。					
見込まれる成果	広域バス交通の拠点である盛岡バスセンターが整備されることにより、圏域内の交通サービスの維持・強化が図られる。また、バスセンター内に設けるサービス施設の整備により、圏域内の観光・物産・交流の情報発信機能などの充実が図られる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	19,950	9,977	-	-	-	29,927
役割分担 費用負担	盛岡市	・バスセンターにバス待合室、屋上広場、ラウンジ等の情報発信やイベント等に活用できる機能を整備し、広域8市町の魅力を発信する方法等を各市町と検討する。				
	連携市町	・バス待合室等のサービス施設の整備を検討する際に、具体的な施設の活用方法について盛岡市と協議する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値（令和7年度）
盛岡バスセンターからのバス発着便数（→）		1,515 便 （令和元年度）		1,367 便 <u>（令和4年12月末）</u>		1,515 便
（出所・出典）盛岡バスセンター発着バス時刻表						

No.	2 - 2	事業名	幹線道路整備事業（津志田白沢線）			
連携市町	盛岡市，矢巾町					
事業概要	盛岡市と矢巾町をつなぐ幹線道路の整備を行う。					
見込まれる成果	周辺には都南図書館，都南文化会館や都南中央公園等公共施設が集中しているため，本路線の整備により当該地域の安全で円滑な交通の確保と周辺の都市計画道路等との有機的な連絡による地域間交流・連携の機能向上を図るものである。					
事業費見込み （千円）	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	76, 106	90, 958	207, 900	62, 000	92, 000	528, 964

役割分担 費用負担	盛岡市	・事業区間 2,160m のうち、盛岡市域約 2,090mの整備を行う。		
	連携市町	・事業区間のうち、矢巾町域約 70mの整備を行う。		
成果指標		成果指標設定時値	現状値	目標値（令和7年度）
津志田白沢線の整備予定 区間（第1工区）内の供 用延長距離（↑）		0m （令和元年度）	150m <u>（令和4年12月末）</u>	300m
（出所・出典）盛岡市				

No.	2 - 3	事業名	幹線道路整備事業（市道谷地頭線外 1 路線（厨川工区））				
連携市町	盛岡市，滝沢市						
事業概要	盛岡市と滝沢市をつなぐ幹線道路の整備を行う。						
見込まれる成果	地域間交流や医療，産業振興，防災などのネットワーク強化を図ることができる。						
事業費見込み （千円）	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計	
	152	108,491	224,000	313,000	347,000	993,243	
役割分担 費用負担	盛岡市	・ 未整備区間 990mの整備を行う。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。					
	連携市町	・ 整備完了区間の維持管理を行う。					
成果指標		成果指標設定時値	現状値		目標値（令和7年度）		
市道谷地頭線の整備予定 区間内の新設歩道（北 側）の供用延長距離 （↑）		0m （令和元年度）	0m （令和4年12月末）		435m		
（出所・出典）盛岡市							

○今後検討する事業

事業名	事業概要
広域的公共交通網の利便性向上に係る調査研究事業	人口減少社会においても公共交通網を維持しつづける観点から、利便性の向上を図り以て利用者を確保するため、交通系 IC カードなどの導入やサービスの共通化，電子決済データと車両運行管理データを統合した情報分析による運行経路やダイヤの最適化，異なる公共交通間の乗り継ぎの改善など，MaaS 基盤の整備を見据えた調査研究を行う。
北岩手・北三陸横断道路の整備促進	盛岡市以北において，内陸部と三陸沿岸北部を結ぶ路線は，線形不良や隘路区間のほか，急勾配・急カーブが連続する交通の難所であり，移動に多くの時間を要する状況にある。盛岡以北の市町村には，農林水産物など魅力ある地域資源が数多くあるほか，災害時の後方支援拠点に指定されていることなどから，観光や災害対策の面など多分野において地域間連携を加速させ，地方創生や人口減少対策に寄与するため，北岩手・北三陸を横断する「（仮称）久慈内陸道路」の整備促進に向けた要望活動を行う。

盛岡西廻りバイパス北バイパスの整備促進	盛岡西廻りバイパス北バイパスは、平成 26 年度に策定した「盛岡広域都市圏道路網基本計画」において、2 環状 6 放射の骨格道路網の重要な幹線道路として位置づけられており、国道 46 号西廻りバイパスの 4 車線化も進んでいる。盛岡西廻りバイパス北バイパスの早期整備は、盛岡広域圏における主要幹線である主要地方道盛岡環状線や国道 4 号盛岡バイパスの渋滞緩和にも繋がり様々な盛岡広域圏のネットワークの強化を図ることができることから、盛岡広域圏の市町及び国、県と連携した取組を進める。
一般国道 4 号「盛岡南道路」の整備促進	一般国道 4 号「盛岡南道路」は、平成 26 年度に策定した「盛岡広域都市圏道路網基本計画」において、重要な幹線道路に位置づけられている。交通ネットワークの充実により、人やモノの流れの活発化や地域資源や機能の相互利用が見込まれることから、各市町を結ぶ道路ネットワークを形成するため、盛岡広域圏の市町及び国、県と連携し、整備促進に向けた取組を進める。

3 戦略 3 暮らしの安心をつなぐ（圏域全体の生活関連機能サービスの向上）

ア 生活機能の強化に係る政策分野

(7) 地域医療

No.	3 - 1	事業名	盛岡保健医療圏域における救急医療体制に関する検討			
連携市町	全市町					
事業概要	岩手医科大学附属病院移転後の救急医療体制の確保等について，広域市町や医大等の関係機関と検討する。					
見込まれる成果	医大附属病院の移転により，これらの患者が他の救急医療機関へ集中し重症患者の診療に支障をきたさないようにするため，盛岡保健医療圏域全体の救急医療体制を整備する。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	0	0	0	0	0	0
役割分担 費用負担	盛岡市	・ 医大附属病院移転後の二次救急医療の課題検討や盛岡保健医療圏としての情報共有や統一した意見の集約において広域的な調整を行う。				
	連携市町	・ 医大附属病院移転後の二次救急医療の課題検討に協力して取り組む。				
成果指標		成果指標設定時値	現状値		目標値（令和7年度）	
盛岡保健医療圏における当番病院の数（小児）（↑）		4 件 （令和元年度）	4 件 <u>（令和4年12月末）</u>		5 件	
盛岡保健医療圏における当番病院の数（第二次）（↑）		11 件 （令和元年度）	11 件 <u>（令和4年12月末）</u>		12 件	
（出所・出典）盛岡地区二次救急医療対策委員会						

No.	3 - 2	事業名	小児救急輪番制病院事業
連携市町	全市町		
事業概要	休日・夜間等に入院加療を必要とする小児重症救急患者を輪番制で診療する病院に対し、運営費を補助する。また、公的病院等に対して特別交付税措置制度を活用し、運営費補助を実施する。		

見込まれる成果	休日・夜間において、圏域の小児重症患者に救急医療を提供する。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	18,963	<u>19,355</u>	22,792	22,792	22,792	<u>106,694</u>
役割分担 費用負担	盛岡市	・小児救急医療事業に関する運営費の補助等を実施するとともに、盛岡保健医療圏 8 市町の事務局的役割を担う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・小児救急医療事業に係る運営費の補助等を実施する。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標	成果指標設定時値		現状値		目標値（令和 7 年度）	
盛岡保健医療圏における当番病院の数 (小児) (↑)	4 件 (令和元年度)		4 件 <u>(令和 4 年 12 月末)</u>		5 件	
(出所・出典) 盛岡地区二次救急医療対策委員会						

No.	3 - 3	事業名	第二次救急医療対策事業				
連携市町	全市町						
事業概要	盛岡地区二次救急医療事業に要する経費の一部を広域各市町で負担し、盛岡市が取りまとめ補助金として交付する。						
見込まれる成果	休日・夜間の二次救急輪番制病院群を支援し、圏域の二次救急医療体制を確保する。						
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計	
	28,317	21,353	61,013	61,013	61,013	232,709	
役割分担 費用負担	盛岡市	・ 二次救急医療事業に係る運営費の補助等を実施するとともに、盛岡保健医療圏 8 市町の事務局的役割を担う。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。					
	連携市町	・ 二次救急医療事業に係る運営費の補助等を実施する。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。					
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値（令和 7 年度）	
盛岡保健医療圏における当番病院の数（第二次） （↑）		11 件 （令和元年度）		11 件 <u>（令和4年12月末）</u>		12 件	
（出所・出典）盛岡地区二次救急医療対策委員会							

(イ) 介護

No.	3 - 4	事業名	盛岡広域シルバーケア S O S ネットワークシステム
連携市町	全市町		
事業概要	警察署等の関係機関との連携を強化し、徘徊高齢者の住所不明事案の手配及び発見・保護、システムの周知と早期発見の指導を行う。また、住所不明事案発生時の情報共有を行う。		
見込まれる成果	S O S ネットワークシステム登録件数及び履物用ステッカーの交付件数が増加し、徘徊高齢者の速やかな発見につなげることができる。		

事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	630	0	<u>660</u>	<u>73</u>	478	<u>1,841</u>
役割分担 費用負担	盛岡市	・履物用ステッカーの購入数の取りまとめを行う。 ・履物用ステッカーに関する周知，広報，配布を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・履物用ステッカーに関する周知，広報，配布を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値	目標値（令和7年度）	
盛岡広域シルバーケア SOS ネットワークシステム 登録延べ件数（↑）		805 件 (令和元年度)		<u>1,175</u> 件 (令和4年12月末)	1,765 件	
(出所・出典) 各警察署						

(ウ) 福祉

No.	3 - 5	事業名	保育所の広域入所			
連携市町	全市町					
事業概要	保護者の居住地外での就労や里帰り出産，転出入等の特別な事情により，盛岡広域他市町の保育所等（保育所，認定こども園及び地域型保育事業に係る施設）での保育を必要としている児童の入所を調整・実施する。					
見込まれる成果	保護者の就労環境等の事情に応じて広域入所を希望する児童を適切に保育できる。また，転出入があった場合も，切れ目のない保育の実施が可能となる。					
事業費見込み （千円）	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	399,555	355,080	328,125	328,125	328,125	1,739,010
役割分担 費用負担	盛岡市	・ 連携市町からの新規・継続入所を受け付ける。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・ 盛岡市からの新規・継続入所を受け付ける。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値	現状値		目標値（令和7年度）	
盛岡市から各広域市町の保育所等へ，各広域市町から盛岡市の保育所等へ入所を希望した児童の内，入所に至った児童の割合（↑）		74.2% (R2 年 3 月末)	集計中		77.4%	
(出所・出典) 8 市町						

No.	3 - 6	事業名	配偶者暴力相談支援センター広域連携事業				
連携市町		全市町					
事業概要		配偶者からの暴力防止対策等に向けた連携として、盛岡市配偶者暴力相談支援センターの業務の対象を広域圏へ広げる。現在の相談員 1 人に、週 3 日（15 時間）の相談員を加え、DV 防止に向けた啓発，相談（必要に応じた出張相談），対応事案に対する相談（スーパーバイザー）等を実施し，広域市町が相互に連携を図りながら協力し取り組む。					
見込まれる成果		対象を圏域全体に拡大することで，住民の安全を確保するとともに，市町職員のDV 等被害者対応能力の向上を図ることができる。					
事業費見込み （千円）		R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
		4,347	4,321	4,321	4,533	4,533	22,055
役割分担 費用負担		盛岡市	・ 配偶者暴力相談支援センターの運営や相談員の確保等，圏域における配偶者等からの暴力防止対策事業に取り組むとともに，広域的な調整を行う。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
		連携市町	・ 出張DV 相談の実施や緊急避難時の移送等の協力等，事業実施に協力して取り組む。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。（令和元年度は負担なし。令和 2 年度は啓発事業について合意が得られた市町により実施する。令和 3 年度以降の事業拡充や費用負担については毎年度協議していく。）				
成果指標			成果指標設定時値	現状値		目標値（令和 7 年度）	
配偶者暴力相談支援センターの相談件数（→）			1,111 件 （令和元年度）	572 件 （令和 4 年 12 月末）		1,100 件	
人権出前講座受講者数（→）			659 人 （令和元年度）	963 人 （令和 4 年 12 月末）		700 人	
人権出前講座回数（広域 7 市町）（→）			4 回 （令和元年度）	1 回 （令和 4 年 12 月末）		4 回	
（出所・出典） 8 市町							

No.	3 - 7	事業名	盛岡広域成年後見センター設置運営事業				
連携市町		盛岡市，滝沢市，雫石町，紫波町，矢巾町					
事業概要		・成年後見制度は，認知症高齢者や知的障がい，精神障がいなどにより判断能力が十分でない人の権利を守り生活を支える重要な仕組みであるが，制度利用は十分でない状況にあることから，成年後見に関する相談から利用までの一貫した支援を行うため，盛岡広域5市町で成年後見センターを共同設置し，次の事業を行う。 ・広報・啓発，相談対応，申立支援，市民後見人養成，成年後見人等活動支援，受任者調整，関係機関等との連携調整					
見込まれる成果		・認知症高齢者等の財産管理，身上監護を成年後見人等が適切に行うことになり，権利擁護が図られる。 ・成年後見人等の担い手不足が解消し，必要とする人が成年後見制度を利用できるようになる。					
事業費見込み (千円)		R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
		25,105	31,792	31,792	31,792	31,792	152,273
役割分担 費用負担		盛岡市	・幹事市として受託者との委託契約を締結する。 ・運営委員会を開催し，センターの適正な運営を図る。 ・センターの周知啓発を図る。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
		連携市町	・運営委員会に出席し，センターの適正な運営を図る。 ・センターの周知啓発を図る。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値（令和7年度）	
盛岡広域成年後見センター等における年間延べ相談件数（↑）		1,068 件/年 (令和元年度)		1,404 件/年 (令和4年12月末)		1,168 件/年	
市民後見人養成講座修了者数（累計）（↑）		169 人 (令和元年度)		227 人 (令和4年12月末)		274 人	
(出所・出典) 盛岡広域成年後見センター， 5市町の地域包括支援センター							

No.	3 - 8	事業名	障がい者相談支援事業			
連携市町	全市町					
事業概要	在宅福祉等を担当する相談支援専門員を配置し、在宅の障がい児（者）及び保護者等に対し、家庭訪問等により相談等に応じて助言等を行う。					
見込まれる成果	障がい者の日常生活における利便性・快適性の向上とともに、心理的・精神的負担が軽減されることで、生活の安定が図られ、自立した生活を送れるようになる。					
事業費見込み （千円）	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	41, 270	<u>40, 820</u>	<u>40, 820</u>	<u>40, 820</u>	<u>40, 820</u>	<u>204, 550</u>
役割分担 費用負担	盛岡市	・ 本事業を実施するとともに、事業内容に関する協議を開催する等、広域的な調整を行う。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・ 本事業に関する協議に参加する等、事業実施に協力して取り組む。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値	目標値（令和7年度）	
障がい者相談支援事業における圏域内の相談件数（→）		5, 251 件 （令和元年度）		<u>集計中</u>	5, 200 件/年	
計画相談支援及び障害児相談支援の利用件数（↑）		<u>2, 606 人</u> → <u>4, 248 人</u> （令和元年度）		<u>集計中</u>	4, 803 人/年	
（出所・出典）8 市町						

(エ) 教育・文化・スポーツ

No.	3-9	事業名	スポーツパル推進事業			
連携市町	全市町					
事業概要	スポーツに親しみスポーツを支える住民のネットワークをつくり、地域の住民がスポーツを通じて健康でいきいきと暮らすことができるまちづくりを推進することを目的とする取組。 ・スポーツ施設の利用，ボランティア活動に参加することによりポイントを貯めることができ，ポイントに応じてグッズ等と交換できる。メールマガジンによりスポーツ情報の配信を行う。					
見込まれる成果	圏域住民のスポーツをする，見る，支える活動機会の充実が図られる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	509	509	509	509	509	2,545
役割分担 費用負担	盛岡市	・スポーツパル会員への情報発信を行うとともに，スポーツ施設やプロスポーツとの連絡調整を行う。				
	連携市町	・各市町のスポーツ情報の提供やスポーツ施設との連絡調整等，事業実施に協力して取り組む。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値	目標値（令和7年度）	
スポーツパル会員数 (↑)		527 人 (平成30年12月末)		<u>2,880 人</u> (令和4年12月末)	10,000 人	
(出所・出典) 8市町						

(カ) 地域振興

No.	3 - 10	事業名	もりおか就職面談会等			
連携市町	全市町					
事業概要	圏域における若年者の地元就職を促進するため、ハローワーク及び盛岡地域雇用開発協会等と連携し、就職面談会の開催や盛岡地域企業ガイドブックの作成など各種事業を実施する。					
見込まれる成果	就職面談会への参加企業を広域圏内の企業に広げ、また各市町が連携して周知広報を行うことにより、就職面談会への参加者の増加が見込まれ、求職者と企業のマッチングが期待できる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	2, 224	2, 218	2, 218	2, 218	2, 218	11, 096
役割分担 費用負担	盛岡市	・ 本事業を実施するとともに、広域的な調整を行う。 ・ 事業実施に要する費用（面談会場使用料・盛岡地域雇用開発協会負担金）を負担する。				
	連携市町	・ 本事業の実施に協力して取り組む。 ・ 事業実施に要する費用（盛岡地域雇用開発協会負担金）を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値	目標値（令和7年度）	
もりおか就職面談会面談会への参加者数（↑）		305 人 （平成 29 年度）		<u>32 人</u> （令和 4 年 12 月末）	310 人/年	
（出所・出典）盛岡市						

No.	3 - 11	事業名	若者の就業支援事業			
連携市町	全市町					
事業概要	「ジョブカフェいわて」や「もりおか若者サポートステーション」との連携や、高校生スキルアップ支援事業や新社会人就職定着支援事業等の実施により、若者の地元企業等への定着支援を行う。					
見込まれる成果	「ジョブカフェいわて」や「もりおか若者サポートステーション」といった若者の就業を支援する機関の利用者が増加し、地元企業への就職・定着が図られる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	13,814	13,865	11,705	11,705	11,705	62,794
役割分担 費用負担	盛岡市	・本事業を実施するとともに、広域的な調整を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・本事業の実施に協力して取り組む。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値	目標値（令和7年度）	
ジョブカフェいわての利用者数（→）		58,171 人 （令和元年度）		集計中	55,000 人/年	
もりおか若者サポートステーションに新規登録した者のうち就職決定したものの割合（↑）		58.8% （令和元年度）		集計中	58.8%	
（出所・出典）もりおか若者サポートステーション						

(カ) 災害対策

No.	3 - 12	事業名	自然災害等対策推進事業			
連携市町	全市町					
事業概要	広域災害等の発生を想定し、圏域市町で連携した減災・防災体制の連携強化を図る。					
見込まれる成果	広域災害発生時等における圏域市町の連携・協力体制を構築することにより、住民の安全・安心の確保と地域防災力の強化を図ることができる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	16,918	67,399	13,054	21,555	16,256	135,182
役割分担 費用負担	盛岡市	・ 本事業の実施に係る調整及び取りまとめを行う。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・ 各市町における取組状況の報告等、本事業の実施に協力して取り組む。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値（令和7年度）
災害用非常食糧の備蓄数 (↑)		59,370 食 (令和2年3月末)		69,043 食 (令和4年12月末)		87,000 食 →69,043 食
(出所・出典) 8市町						

No.	3 - 13	事業名	震災対応事業				
連携市町		全市町					
事業概要		・東日本大震災周年行事 東日本大震災の発災日である 3 月 11 日に、地域住民とともに犠牲となった方々の冥福を祈り、復興への誓いを新たにするための行事を開催する。					
見込まれる成果		・東日本大震災周年行事 追悼式や地域住民が自由に参加できる灯籠イベントを開催することにより、震災の記憶の風化防止に寄与することが期待される。					
事業費見込み (千円)		R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
		1, 130	1, 260	1, 260	1, 260	-	4, 910
役割分担 費用負担		盛岡市	・事業の企画総括や事業実施に係る調整及び取りまとめ、関係機関・団体との各種調整を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
		連携市町	・周年行事用の灯籠作成に係る地域内の小学校等への依頼等を行う。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値（令和 6 年度）	
東日本大震災周年行事の参加者数（→）		2, 600 人 （平成 30 年 3 月）		未実施		2, 600 人	
（出所・出典）盛岡広域首長懇談会							

No.	3 - 14	事業名	南岩手山岳遭難対策事業			
連携市町	盛岡市，滝沢市，雫石町					
事業概要	岩手山を中心とする山岳における遭難事故の防止，遭難者の捜索及び救助を目的とし，遭難事故等を想定した合同訓練を実施する。					
見込まれる成果	岩手山を中心とする山岳での遭難事故発生時等における遭難救助を迅速，効果的に実施することができる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	600	600	600	600	600	3,000
役割分担 費用負担	盛岡市	・ 本会の事業・活動に連携して取り組む。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・ 本会の事業・活動に連携して取り組む。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値	目標値（令和7年度）	
南岩手山岳遭難隊員の訓練受講者数（→）		64 人 （令和元年度）		未実施	50 人/年	
（出所・出典）南岩手山岳遭難対策委員会事務局						

(※) 環境

No.	3 - 15	事業名	岩手県央へい獣処理協議会事業			
連携市町	盛岡市，滝沢市，雫石町，紫波町，矢巾町					
事業概要	岩手県央へい獣処理協議会は，環境保全及び家畜防疫上重要である死亡家畜の適正処理に取り組むため，行政機関，農業協同組合，民間事業者で設立されたものである。 盛岡市をはじめとした5市町管内の死亡家畜（牛・馬）を適正に処理するための一時保管施設であり，令和2年度は 855 頭の利用があるもの。死亡した家畜の処理については，「化製場等に関する法律」に基づき適正に処理することとなっているが，処理施設に運搬するまでの中間保冷施設として運用し，適正な死亡家畜の処理を行うためのものである。 【協議会構成団体】盛岡市，滝沢市，雫石町，紫波町，矢巾町，新岩手農業協同組合，岩手中央酪農業協同組合，岩手花平農業協同組合，岩手中央農業協同組合，小岩井農牧株式会社					
見込まれる成果	環境保全及び家畜防疫のため，5市町管内の死亡家畜を適正処理することにより，管内の畜産農家の健全経営に寄与する。					
事業費見込み （千円）	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	1,150	1,500	1,500	1,500	1,500	7,150
役割分担 費用負担	盛岡市	・ 協議会における，施設の運営・管理についての，情報共有，意見交換を行う。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・ 協議会において，施設の運営・管理についての，情報共有，意見交換を行う。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値	目標値（令和7年度）	
岩手県央へい獣処理施設 施設利用頭数（→）		825 頭 （令和元年度）		780 頭 （令和4年12月末）	825 頭	

No.	3 - 16	事業名	盛岡広域鳥獣被害防止対策協議会事業			
連携市町	全市町					
事業概要	盛岡広域における，野生鳥獣による農作物被害金額は年々増加傾向にあり，有害鳥獣被害対策は喫緊の課題となっている。野生鳥獣は行政区域を越えて移動することから，連携して有害鳥獣被害対策に取り組むため，平成 30 年度に盛岡広域 8 市町で「盛岡広域鳥獣被害防止対策協議会」を設立し，有害鳥獣捕獲の担い手を育成するため矢巾総合射撃場の整備を当該協議会が事業主体となり行った。今後も，8 市町が連携し，被害状況や対策について情報共有や被害防止のための研修会の開催により，現場技術指導者の育成を行うとともに，ジビエ肉処理加工施設整備や，捕獲個体の適正な処理等の有害鳥獣対策を検討するものである。					
見込まれる成果	盛岡広域で有害鳥獣対策に取り組むことにより，農作物被害の減少が図られる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	80	57	57	57	57	308
役割分担 費用負担	盛岡市	・ 広域 8 市町の連携による有害鳥獣対策活動。 ・ 被害状況や対策についての情報共有。				
	連携市町	・ 広域 8 市町の連携による有害鳥獣対策活動。 ・ 被害状況や対策についての情報共有。 ・ 盛岡広域鳥獣被害防止対策協議会の事務局を担当する。(矢巾町)				
成果指標		成果指標設定時値	現状値		目標値 (令和 7 年度)	
有害捕獲に係る研修受講者数 (↑)		25 人 (令和 2 年度)	30 人 (令和 4 年 12 月末)		30 人	
(出所・出典) 盛岡広域鳥獣被害防止対策協議会						
(出所・出典) 岩手県央へい獣処理協議会						

イ 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

(7) 地域内外の住民との交流・移住促進

No.	3 - 17	事業名	インターンシップ事業			
連携市町	全市町					
事業概要	就職を目指す高校生の地元定着を図るために、インターンシップを受け入れる事業所を開拓し、実習を希望する高校生とのマッチングを行う。					
見込まれる成果	圏域全体で受入れ企業を開拓し、実習の受入体勢を整備することにより、高校生に多くの業種や地元企業の周知ができ、県内に就職する高校卒業者の増が見込まれる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	<u>14</u>	<u>4</u>	20	20	20	<u>78</u>
役割分担 費用負担	盛岡市	・ 本事業を実施するとともに、広域的な調整を行う。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・ 本事業の実施に協力して取り組む。(実習を受け入れる企業の開拓、管内の高校への周知等)				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値 (令和7年度)
インターンシップへの参加事業者数 (↑)		55 企業 (令和元年度)		<u>58 企業</u> (令和4年12月末)		120 企業

				(令和4年12月 末)			
(出所・出典) 8 市町							
No.	3 - 18	事業名	盛岡広域移住・定住促進事業				
連携市町		全市町					
事業概要		地方創生における人口減少対策のうち、各市町に共通する課題と考えられる「首都圏からの移住促進」について、盛岡広域振興局と連携しながら、盛岡広域圏が一体となり取り組むため、情報発信、移住ツアー、移住相談など受入体制の充実を図る。(事業の実施内容を踏まえて令和5年度に事業の見直しを行う。)					
見込まれる成果		移住促進について、各市町が強みを活かしながら盛岡広域圏としての一体的に取り組むことで、より良いイメージを形成することが可能となり、首都圏在住者に対する訴求力の向上に資する。また移住希望者にとって選択の幅も広がり、他都市との差別化を図ることが可能となるほか、各市町における情報発信や相談支援などの効果的な事業展開に寄与する。					
事業費見込み (千円)		R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
		2,132	2,530	-	-	-	4,662
役割分担 費用負担		盛岡市	・本事業に係る事務担当を担うほか、企画・運営を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
		連携市町	・本事業の実施に合わせ、必要な情報提供や受け入れについて協力を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。(令和5年度以降に検討)				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値 (令和7年度)	
移住ツアーの延べ参加者 (↑)		- (令和元年度)		82 人 (令和4年12月末)		100 人	
(出所・出典) 8 市町							

(ウ) 上記に掲げるもののほか、結びつきやネットワークの強化に係る分野

No.	3 - 19	事業名	消費者行政の共同実施			
連携市町	全市町					
事業概要	・消費者行政（消費生活相談，啓発等）の共同実施を円滑に推進する。 ・共同実施を円滑に実施するための協議を行う。 ・消費者行政に必要な情報及び知識等を得る研修を行う。					
見込まれる成果	圏域全体で取り組むことにより，各市町が個別に取り組む場合と比較して効率的かつ合理的に消費者行政の推進が図られる。					
事業費見込み （千円）	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	<u>3,425</u>	3,716	<u>3,713</u>	<u>3,713</u>	<u>3,713</u>	<u>18,280</u>
役割分担 費用負担	盛岡市	・盛岡市消費生活センターを「盛岡広域消費生活センター」として位置付け，主体的に運営するとともに，広域市町と情報共有しながら連携する。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・盛岡広域消費生活センターとの情報共有などの連携を図る。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値（令和7年度）

圏域の消費生活相談における解決率（↑）	98.5% (令和元年度)	<u>97.5%</u> (令和4年度12月末)	99.0%
(出所・出典) 盛岡市			

No.	3 - 20	事業名	電子入札等基盤整備事業			
連携市町	全市町					
事業概要	・各市町で行う競争入札参加資格申請（工事，建設関連業務委託，物品の買入れ等）を広域市町で統一し，受付にあたっては電子化を進めることで，申請者の利便性の向上につなげるほか，広域市町における受付・審査事務の役割分担を明確にすることで，事務の効率化を図る。 ・電子入札の導入を検討する広域市町に対し，実際の流れや導入効果等の情報共有を行い，電子化を進めることで，さらなる入札事務の効率化を目指す。 ・上記事業の取組推進に係る定期的な会議開催のほか，入札・契約事務に関する協議や共同研修等の場を設けることにより，入札・契約事務の適正化を図る。					
見込まれる成果	・入札参加資格申請事業者の大幅な利便の向上（広域ワンストップサービスの提供） ・広域市町における競争入札参加資格申請受付及び審査業務の負担軽減 ・広域市町における入札・契約事務の効率化及び適正化					
事業費見込み （千円）	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	<u>11,501</u>	<u>4,657</u>	<u>6,331</u>	<u>4,657</u>	<u>6,331</u>	<u>33,477</u>
役割分担 費用負担	盛岡市	・盛岡広域8市町の契約担当課との意見交換会の事務局機能 ・入札参加資格申請に係る共通審査事項の審査，盛岡市分に係る個別審査事項の審査，格付け等 ・システム運用委託等に係る契約・支払事務				
	連携市町	・各市町に係る入札参加資格申請個別審査事項の審査，格付け等 ・システム運用委託等に係る一部負担				
成果指標		成果指標設定時値	現状値		目標値（令和7年度）	
入札参加資格申請の電子化率（↑）		98% （令和元年度）	<u>99.6%</u> （令和4年12月末）		100%	
（出所・出典）業務統計						

○今後検討する事業

事業名	事業概要
地方創生 SDGs 推進調査研究事業	SDGs 登録・認証等制度により，SDGs に積極的に取り組む地域事業者等の「見える化」を行い，地域事業者等の認知度向上や人材確保，多様なステークホルダーの連携による自律的好循環の形成を図り，コロナ禍において新型コロナウイルス感染症によりもたらされた停滞した経済からの回復を図るとともに，地方創生及びSDGs の推進を図る
デジタル化推進調査研究事業	Society5.0 の進行やコロナ禍における行政のデジタル化の推進について，広域で取り組むことが効果的である分野の選定や協同して取り組む手法について調査研究を行う。

ウ 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

(7) 人材の育成

No.	3 - 21	事業名	人材の育成			
連携市町	全市町					
事業概要	職員研修等を圏域内市町で共有する。					
見込まれる成果	研修等の共有化により、職員間の相互理解が深まるとともに、能力・資質の向上が期待できる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	0	0	0	0	0	0
役割分担 費用負担	盛岡市	・盛岡広域首長懇談会人材育成部会の運営を通じ、各市町間の情報交換や共通課題の検討を行う。				
	連携市町	・必要に応じ、事業実施に協力して取り組む。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値（令和7年度）
広域他市町の研修に参加した職員の割合（↑）		8.7% （令和元年度）		7.3% （令和4年12月末）		9.0%
（出所・出典）8市町						

(イ) 圏域内市町の職員等の交流

No.	3 - 22	事業名	圏域内市町の職員の交流			
連携市町	全市町					
事業概要	新規事業や共同事業などによる個別の人事交流を実施するほか、職員の意識改革や能力・資質の向上が期待できる多様な形態の人事交流の実施可能性を検討し、人材育成の推進を図る。					
見込まれる成果	職員間の相互理解が深まるほか、各市町で行われている人事交流や派遣研修等の取組内容、成果等を検証することにより、行政ニーズに対応し得る人材育成につながることを期待できる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	0	0	0	0	0	0
役割分担 費用負担	盛岡市	・盛岡広域首長懇談会人材育成部会の運営を通じ、各市町間の情報交換や共通課題の検討を行う。				
	連携市町	・必要に応じ、事業実施に協力して取り組む。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値（令和7年度）
広域他市町の研修に参加した職員の割合（↑）		8.7% （令和元年度）		7.3% <u>（令和4年12月末）</u>		9.0%
（出所・出典）8市町						

No.	3 - 23	事業名	国保盛岡地区協議会事業			
連携市町	全市町					
事業概要	国民健康保険事業に関する情報交換や各種研修会等を，総務部会や保健活動部会などの各部会において実施する。					
見込まれる成果	国民健康保険事業の健全な運営の確保や事務の標準化，国保関係者の資質の向上が図られる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	<u>1,823</u>	<u>2,427</u>	<u>819</u>	<u>819</u>	<u>819</u>	<u>6,707</u>
役割分担 費用負担	盛岡市	・各種事業を企画，実施するとともに，広域的な調整を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・協議会が開催する各種事業へ参加するとともに，輪番で担当となる事業の企画運営を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値	現状値		目標値（令和7年度）	
国民健康保険事業に関する会議・研修会の参加者数（↑）		295 人 （令和元年度）	<u>173 人</u> （令和4年12月末）		332 人/年	
（出所・出典）国保盛岡地区協議会事務局						